

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯－11 体育施設整備事業				ザイムスコード及び個別事業名			
	□支援部門				1199	体育施設整備事業		
主管課	スポーツ課		関連課		1364	スポーツ施設建設基金積立金		
分野名	スポーツ・レクリエーション				1403	スポーツ施設整備検討会		
目標 (目標値)	スポーツ活動の普及を図ります。 市民のスポーツ実施率を60%にする。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人 口	176,669人	176,484人					
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状 況	決算値	105,676千円	185,230千円		指標と評価			
	(国・県)	9,066千円	8,890千円		指標	一般利用者 (こもれび山崎温水プール)		
	(負担金等)	680千円	604千円		評価	◎		
	(一般財源)	95,930千円	175,736千円					
	人員配置数	0.1人	0.1人					
	人 件 費	894千円	872千円					
	協働の パートナー							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退								
事務事業 運営経費	総事業費	106,570千円	186,101千円			目標値	実績値	
	市民1人当 りの経費	603円	1,054千円		20年度	120,000	192,571	
	対象者1人 当りの経費				21年度	120,000	202,708	
					22年度	120,000		
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					23年度	120,000	
						最終年度 (年度)	120,000	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 市民やスポーツ団体から要望の高い総合体育館や総合グラウンド建設に向けた 取り組み。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 建設財源に充てるためのスポーツ施設建設基金の積立、運用を行った。 (2) スポーツ施設整備に向けた「スポーツ施設整備懇話会」を実施。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1) 施設建設に向け、引き続き候補地の選定を図っていく。 (2) スポーツ施設整備懇話会の意見を集約する。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 平成22年度も引き続き懇話会を開催し意見集約を図る。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	こもれび山崎温水プールは、今後とも安 定的な運営がなされ、事業が継続される よう側面的な支援をしていく。 スポーツ施設建設基金は、設置目的に 沿い、着実な積み立てを行っていく。		評価結果	改善の必要性	こもれび山崎温水プールは、引き 続き市民に親しまれる施設として運 営をしていく。 スポーツ施設建設基金は、着実な 積み立てを図っていく。		
A	無			A	無			
課長名		小池 忠紀		部名・部長名		生涯学習部長 植松 芳子		